

PCフォーラム

2025年5月号

<https://dappe.com>

mail:dappepc@gmail.com

JA 水郷つくばパソコン研究会会報

担当部署：JA水郷つくば営農部
営農企画課

土浦市田中1-1-4

電話 029-823-7001



みなさん、こんにちは。

いつも会の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

4月15日の総会資料を送らせていただきます。

また6月10日は撮影会研修の予定です。

まだ内容は決まっていますが、JA9時出発で夕方は5時までに帰宅できるような予定を組みたいと思います。

次回5月末発行のPCフォーラムにて詳細をご案内いたします。

よろしくお願いいたします。

特集

① LINE、iPhone・Android間でも“トーク履歴の完全移行”ようやく可能に 課金ユーザー限定

LINE ヤフーは4月17日までに、月額制の有料サービス「LYPプレミアム」会員向けに、新たなバックアップ機能「プレミアムバックアップ」の提供を始めました。会員は順次利用可能になります。利用すると、iOSとAndroidの間でも、全てのトーク履歴を移行できるようになります。

LYPプレミアム会員特典の「プレミアムバックアップ」を使えば、同じOS間だけではなく、異なるOS間であっても大切な写真や動画も含めたトーク履歴をリアルタイムにバックアップでき、異なるOS間のデータ移行が可能になります。

LINEのトーク履歴は基本的に端末に保存される仕様です。これまで異なるOS間では、直近14日分のデータしか移行できませんでしたが、プレミアムバックアップでは、iOS・Android間でのデータ移行に期間などの制限なく対応しています。

バックアップ機能も拡充して、無料ユーザーでは「メッセージのみ」だったバックアップ対象が、写真・動画・ファイル・ボイスメッセージが加わる。

無料ユーザーとLYPプレミアム会員の機能比較

バックアップは初回のみ手動だが、その後は自動かつリアルタイムで実行される。無料ユーザーは、iCloudやGoogleドライブといった外部クラウドにトーク履歴を保存する仕組みだったが、LYPプレミアム会員には、LINE独自のクラウドストレージが提供され、最大100GBまで保存できる。

引き継ぎ方法	標準バックアップ	プレミアムバックアップ
バックアップ対象	メッセージのみ	メッセージ、写真、動画、ファイル、ボイスメッセージ
データ移行	iPhone<>Android間では不可*1	iPhone<>Android間でも可能
保存容量	ご利用のクラウドストレージに依存*2	100GB*3
バックアップ頻度	手動または自動(1日1回~)	自動でリアルタイム*4

*1: アカウントの引き継ぎ方法によっては、最大で直近14日間のデータ移行ができます。

*2: 通常、iCloudは無料で5GB、Googleドライブは無料で15GBまで利用できます。

*3: 100GBを超えると、バックアップは自動で停止されます。

*4: 初回のみ手動でバックアップする必要があります。

LYPプレミアムは、Yahoo!プレミアムとLINEの有料機能を統合したサブスクリプションサービス。

月額料金はWeb版が508円、アプリ版が650円となっている。なお、LINEヤフーは「プレミアムバックアップ機能は順次追加されるため、利用可能な時期はユーザーによって異なる」としています。

② 中国のロボット技術をアピール

中国の首都・北京で、人間のランナーと一緒に2足歩行の人型ロボットが走るハーフマラソン大会が4月19日に開催されました。

主催者によると、人型ロボットが走るマラソン大会は世界で初めてで、国を挙げて開発に力を入れるロボット技術をアピールしました。

1位は北京の北京市に拠点を置く政府系研究機関「[北京人形机器人创新中心](#)」が開発した「天工ウルトラ」という名のロボットで、21キロ余りをおよそ2時間40分で完走しました。21体のロボットが出場したが、制限時間の4時間以内に完走したのは4体にとどまった。

「天工ウルトラ」は途中で一度転倒し、バッテリーを3回交換しながらも、終始リードを保った。動作は、腰に信号装置を装着して前方を走る人間のインストラクターの動きを模倣する形式で制御されていた。

2位になった中国企業のNoetix Roboticsが開発のロボット「N2」はペースこそ遅かったものの、安定した走りぶりですごい走りぶり。一方、ほかの人型ロボットの走りは、目も当てられないようなものだった。大半のロボットは人間の操縦者がジョイスティックで操作し、中にはリードが付いているロボットもあった。



北京人形机器人创新中心的ホームページ



マラソン大会の様子。伴走は必要のようです。

中国の業界団体によりますと、人型ロボットを開発する企業の数は、2024年6月の時点で、アメリカが世界の19%を占めるのに対し、中国は37%と、およそ2倍にな

っているということです。

背景には、科学技術の自立自強を掲げる習近平指導部の後押しがあります。先月の全人代でも、AIやロボット技術をさらに発展させる方針が示されました。

中国では少子高齢化が急速に進んでいて、将来の人手不足を補い、経済を支える存在として人型ロボットに期待の目が向けられています。

ただ、米中ともに、人型ロボットが実際に人に代わってさまざまな仕事を本格的に担えるようになるにはまだ時間がかかるとみられ、米中のどちらかが競争を制するのか注目されています。

QRコードは2025年4月からの年間予定です

5月と6月の予定

5/06 WEB

5/13 定例会 写真講座

5/20 WEB

5/27 定例会、PCフォーラム発行など

6/03 WEB

6/10 研修会... 撮影会

6/17 WEB

6/24 定例会 撮影会報告、PCフォーラム発行

※WEB定例会はLINEグループでの開催です。

